

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（医療法人財団北林厚生会 五条山病院 第3報（最終報））

医療法人財団北林厚生会 五条山病院の入院病棟 A、入院病棟 B 及び入院病棟 C において、新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案が発生し、濃厚接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていません。よって当該院内感染（クラスター）事案は終結しました。

1 発生場所

医療法人財団北林厚生会 五条山病院（所在地 奈良市六条西4-6-3）

2 感染者の概要

(1) 経緯

入院病棟 A 12月14日、入院病棟 A に勤務する職員1人の感染が判明し、当該入院病棟の職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者31人及び職員11人（初発感染者を含む）の計42人の感染を認めました。

入院病棟 B 1月3日、入院病棟 B に勤務する職員1人の感染が判明し、当該入院病棟の職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者18人及び職員4人（初発感染者を含む）の計22人の感染を認めました。

入院病棟 C 1月9日、入院病棟 C に入院する患者1人の感染が判明し、当該入院病棟の職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者41人（初発感染者を含む）及び職員2人の計43人の感染を認めました。

(2) 感染者（計107人）

ア 入院患者90人（市内88人、市外2人）

【内訳】性別：男性37人、女性53人

年代：20代3人、30代2人、40代7人、50代26人、60代23人
70代16人、80代12人、90代1人

イ 職員17人（市内10人、市外7人）

【内訳】性別：男性3人、女性14人

職種：看護職員10人、看護助手7人

年代：20代1人、30代2人、40代1人、50代9人、60代4人

※第2報（1月20日）以降、入院患者19人及び職員2人の感染が判明しました。

3 病院の対応

- ・ 12月14日～
 - ・ 入院病棟 A の消毒を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 A の入院患者及び職員に対し検査を実施。
 - ・ 入院病棟 A の新規入院を中止。
- ・ 1月3日～
 - ・ 入院病棟 B の消毒を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 B の入院患者及び職員に対し検査を実施。
 - ・ 入院病棟 B の新規入院を中止。
- ・ 1月9日～
 - ・ 入院病棟 C の消毒を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 入院病棟 C の入院患者及び職員に対し検査を実施。
 - ・ 入院病棟 C の新規入院を中止。
- ・ 1月30日～
 - ・ 入院病棟 A 及び入院病棟 B の通常の病院機能を再開。
- ・ 2月8日～
 - ・ 入院病棟 C の通常の病院機能を再開。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第 16 条第 2 項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。